平成31年度 社会科 3年公民 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

< 2 > 公民的分野の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主主義の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり及び現代の社会生活などについて、個人と社会の関わりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄をはかることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

社会的事象への関心・意欲・態度	現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って、よりよい社会を考え、公民としての自覚を持って責任を果たそうとする。
社会的な思考・判断・表現	現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	統計や新聞、映像など現代の社会的事象に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
社会的事象についての知識・理解	現代社会についての見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社旗的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身につけている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

社会科 3学年 公民分野 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
4	1 (1時間)	【導入】 スーパーマーケットから現代社会を見てみよう	●	●			<p>関心・意欲・態度 公民の学習が身近な生活に深い関わりをもつことに気づき、学習に関心と意欲をもてる。</p> <p>思考・判断・表現 少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代社会の特色について資料から読み取っている。</p> <p>関心・意欲・態度 少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代社会の特色や、我が国の伝統と文化に対する関心を高めることができる。</p>
	第1節 現代社会の 特色と私たち (4時間)	<p>1 グローバル化—結びつきを強める世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化とは ・国際競争と国際分業 ・国際問題と多文化社会 <p>2 情報化—情報が変える社会のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化とは ・情報化による社会の変化 ・情報 ・少子高齢社会への挑戦 <p>3 少子高齢化—変わる人口構成と家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化とは ・多様化する家族 ・安心社会を目指して <p>4 持続可能な社会に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会とは ・東日本大震災と人々のつながり 	●	●	●	●	<p>関心・意欲・態度 現代社会を調べることで、現代社会のそれぞれの課題に対し、関心と意欲をもっている。</p> <p>技能 地理と歴史で学習した内容をふまえた調査活動やまとめ方を用いて、発表している。</p> <p>知識・理解 現代日本社会の課題である少子高齢化、情報化、グローバル化、持続可能な社会に向けてのそれぞれの課題について理解している。</p>
5	第2節 私たちの生活と文化 (3時間)	<p>1 私たちの生活と文化の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と文化 ・科学・宗教・芸術 ・文化の役割と課題 		●	●	●	<p>関心・意欲・態度 文化の意味や役割について興味関心を持って理解しようとする。</p> <p>思考・判断 世界の文化の多様性や共通点を多面的・多角的に考察し、適切に表現してまとめることができる。</p> <p>知識・理解 文化とは何か、なぜ文化に違いがあるのか、また、現代の社会の中で、私たちの生活に文化が大きな影響を与えていることを理解する。</p> <p>世界の宗教・科学・我が国の伝統・文化の現代社会における具体的な影響を理解している。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 2 受けつぎ，創造する日本の伝統・文化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化とは ・ 日本文化の地域的多様性 ・ 伝統文化の継承と保存 3. 多文化共生を目指して <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界に広がる日本文化 ・ 日本の中の外国文化 ・ 多文化共生と異文化理解 				<ul style="list-style-type: none"> ● 知識・理解 我が国の伝統・文化に関心をもち，日本独自の文化を伝えていこうとする意欲をもっている。 思考・判断 多文化共生の社会を築くために，自分でできることを三つあげ，どのようなことか具体的に説明できる。
	第1節 現代社会をとらえる見方や考え方 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 1 社会集団の中で生きる私たち <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族と地域社会 ・ 社会的存在としての人間 ・ 対立と合意 2 効率と公正 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが納得するためには ・ 効率とは 3 決まりを作る目的と方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 決まりの意義 ・ 権利、義務、責任 ・ 決定の仕方 4 決まりの評価と見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 決まりは変更できる ・ 決まりを評価する視点 ・ 共生社会を目指して 	●	●		<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度 社会生活における決まりに対する関心を高め，意欲的に追究している。 思考・判断・表現 問題を解決する際、どのような決定の仕方が望ましいのかについて，対立と合意の視点から考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ● 知識・理解 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての対立と合意について理解している。
6	(1時間) 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 (8時間)	【ちがいのちがい】 <ul style="list-style-type: none"> 1 人権の歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権思想の成立 ・ 人権思想の発展と広がり ・ 日本の人権思想の芽生え 2 立憲主義と日本国憲法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法と立憲主義 ・ 国の政治の仕組み ・ 日本国憲法の制定 3 国民主権と天皇の地位 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民主権 ・ 憲法改正 ・ 「象徴としての天皇」 4 日本の平和主義 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和主義と憲法9条 ・ 日米安全保障条約 ・ 自衛隊と国際貢献 ・ 世界平和を目指して 	●		●	<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度 身近に存在する人権問題と人権尊重について，意欲的に学習しようとしている。 思考・判断・表現 資料から有用な情報を適切に読み取って、公正の観点から自分の考えをまとめることができる。 思考・判断・表現 立憲主義の考え方が確立する上での歴史的な意義や価値について考えている。 知識・理解 憲法がなぜ必要なのかを「人権規範としての憲法」ならびに「最高法規としての憲法」という視点から理解している。

7		<p>2 政治参加と選挙</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治参加としての選挙 選挙の基本原則 日本の選挙制度 選挙の課題①棄権の増加 選挙の課題②一票の格差 政治参加の様々な方法 <p>3 政党と政治</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党の働き 政党政治 日本の政党政治 <p>4 マスメディアと世論</p> <ul style="list-style-type: none"> 世論とマスメディア メディアリテラシー 公正な世論を形成するために . . 		<p>関心・意欲・態度 選挙などの政治参加やマスメディアの役 考えている。</p> <p>技能 新聞記事を読んで、出来事を読み取 り、比較することで、事象の多面性 を読み取ることができる。</p> <p>思考・判断・表現 民主政治における選挙の重要性と ともに、選挙の方法による問題点に についても考察している。</p> <p>知識・理解 選挙の意義と原則及び現在の日本 の国政の選挙制度を理解している。</p> <p>技能 日本の政党を調べ、その特徴や政 策の違いをまとめて発表している。</p> <p>知識・理解 政党が国民の要求を政治によって実 現する役割を負っていることを理解 している。</p> <p>思考・判断・表現 内閣の仕事と国会との関係を具体 的な事例をもとに説明している。</p> <p>技能 行政の仕事、教科書 104 ページの図②を 具体的な事例をもとに説明している。</p> <p>知識・理解 行政の仕事、教科書 104 ページの 図②を活用して説明している。</p> <p>思考意欲・判断・表現 将来裁判に参加する公民として、 司法について意欲的に学んでいる</p> <p>技能 法に基づく公正な裁判によって国民 の権利が守られていることを理解し 、その知識を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現 刑事裁判と民事裁判のちがいに ついてわかりやすく説明している。</p> <p>知識・理解 過去の冤罪事件について、その原因を 理解</p> <p>思考・判断・表現 「司法改革と裁判員制度」という テーマで2分程度のスピーチをし ている。</p>
8				
9	<p>2 節 国の政 治の仕組 (8 時間)</p>	<p>1 国会の地位と仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 国会の地位 二院制 国会の議決と衆議院の優越 国会の会期 <p>2 国会の働き</p> <ul style="list-style-type: none"> 法律の制定 予算の審議・議決 内閣総理大臣の資恵美 その他の国会の仕事 <p>3 行政の仕組みと内閣</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政とは 内閣の仕事と組織 議院内閣制 <p>4 行政の役割と行政改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政を実行する公務員と財政 行政の拡大 行政改革 <p>5 裁判所のしくみと働き</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会生活と法 司法と裁判所 司法権の独立 <p>6 裁判の種類と人権</p> <ul style="list-style-type: none"> 民事裁判 刑事裁判 裁判と人権保障 <p>7 裁判員制度と行政改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 司法改革 裁判員制度 取り調べの可視可と被害者参加制度 		

	第 4 章 私たちの生活と経済 (2時間)	【導入】 コンビニエンスストアの経営者になろう	●			<p>関心・意欲・態度 身近な状況において存在する経済の問題とそれ合理的に解決することに対する関心が高まり、意欲的に学習しようとしている。</p> <p>思考・判断・表現 経済的な問題の解決について「希少性」や「選択」の観点から判断し、自分の意見を説明している。</p>
10	第 1 節 消費生活と経済のしくみ (2時間)	<p>1 私たちの消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらしと消費 ・かしこい消費者になるために <p>2 家計の収入と支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計の収入 ・家計の支出 	●	●	●	<p>関心・意欲・態度 個人の消費活動や企業の生産活動、流通活動に対する関心を高めている。</p> <p>思考・判断・表現 経済活動において公正で安全な消費活動を行うための注意点や課題について考えている。</p> <p>思考・判断・表現 家計の一覧表を作成し、収入や支出の具体例を記入している。</p> <p>技能 世帯によって支出の内訳が異なり、それぞれどのような特徴があるかを読み取り、まとめている。</p>
	第 2 節 くらしと経済 (2時間)	<p>1 ものの流れとお金の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな小売店 ・流通のしくみ ・お金の流れ <p>2 市場のしくみと価格の決め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格と市場 	●		●	<p>関心・意欲・態度 消費生活を支える流通のしくみやお金の流れについて関心を持って取り組んでいる。</p> <p>知識・理解 身の周りの商品がどのような経路で私たちに届いているのかを理解している。</p> <p>技能 価格決定に関する資料を読み取ることができ、需要曲線および供給曲線を作成している。</p> <p>知識・理解 価格が決定されるしくみを理解し、企業や個人は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するかを選択していることを理解している。</p>
	(1時間)	お金を借りるということ				<p>思考・判断・表現 お金を借りた場合の簡単な利息の計算をしている。</p> <p>知識・理解 お金を借りるためには利息を支払うことであることを理解している。</p>
	(1時間)	欲しいものを買うために ロジックツリー――		●	●	<p>思考・判断・表現 将来における自らが行う消費について論理的な過程を踏まえて、合理的な結論を考えることができる。</p> <p>技能 ロジックツリーの手法を使い、自分の意見をまとめ、議論を行うことができる。</p>

11	<p>第 5 章 生産のしくみと金融</p> <p>第 1 節 生産と企業 (4時間)</p>	<p>1 生産活動とそのしくみ ・さまざまな生産活動 ・生産要素</p> <p>2 企業のしくみ ・企業とは何だろう ・株式会社のしくみ ・企業の社会的責任</p> <p>3 企業の競争と独占の問題 ・企業の競争 ・独占の問題 ・公共料金</p>		●		<p>思考・判断・表現 様々な生産活動について、具体的な例を通して説明している。また、身近な製品を通して知的資源が重要となってきたことを考えている。</p> <p>知識・理解 財やサービスを生産するには生産要素が必要であることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 企業の種類や役割、社会に及ぼす影響について、身近な事例をあげて説明したり分類したり考察している。</p> <p>知識・理解 企業の種類や役割、株式会社のしくみと、企業の社会的責任について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 生産の集中や独占について、消費者の立場に留意して考えている。</p> <p>知識・理解 資本主義経済における自由競争のしくみと生産の集中が起こる過程について理解する。また、独占に関する法律や機関、問題点を理解している。</p>
	(1時間)	日本経済を支える中小企業		●		<p>思考・判断・表現 中小企業の特徴について、その利点と問題点の両面から考えている。</p> <p>知識・理解 高い技術力を持ち、多種多様な生産品を生み出す可能性の高い中小企業に期待が高まっていることについて理解している。</p>
11	<p>第 2 節 金融とお金の価値 (3時間)</p>	<p>1 企業と家計をつなぐ金融 ・金融のしくみ ・日本銀行</p> <p>2 為替相場と円高円安 ・金融と為替 ・円高と円安</p>		●		<p>思考・判断・表現 各自の暮らしの中から企業と家計をつなぐ金融機関の役割について考えている。</p> <p>知識・理解 銀行や日本銀行のはたらきの意義としくみを知り、金融が経済活動になくはならないものであることを理解している。</p> <p>技能 為替相場の数値から円とドルの換算を行い、資料をもとに為替相場の変動が企業や私たちの生活に及ぼす影響と問題点を読み取っている。</p> <p>知識・理解 為替相場が変動する理由と、円高・円安の意味とその影響について理解している。</p>

(1時間)	金融スキルアップ		●		<p>思考・判断・表現 賢い消費者として、金融商品を選ぶ上で必要なことを考えている。</p> <p>知識・理解 金融商品によって金利に差があるのは、金融商品をめぐるリスクとリターンが連動しているためであることを理解している。</p>
第 3 節 働く人をめぐる問題 (3時間)	1 働く意味と雇用の問題 ・なぜ働くのか ・変わる雇用 2 今日の職場の問題 ・労働者をとりまく環境 ・女性と労働 ・ワーク・ライフ・バランス ・労働組合 ワーキングプアってなに？	●	●	●	<p>関心・意欲・態度 社会生活における職業の意味や役割について関心をもっている。</p> <p>思考・判断・表現 働くことの目的が、雇用形態の多様化と共に変化していることをグラフなどからとらえている。</p> <p>思考・判断・表現 今日の労働条件や女性の労働をめぐる問題から、男女がともに安心して働ける社会への課題を考え、将来、自分がどのような労働条件で働きたいかを考え、労働問題の既習事項や「ワーク・ライフ・バランス」を意識した意見をもっている。</p> <p>知識・理解 労働規準法や男女雇用機会均等法は、働く者の権利を尊重するためであることを理解している。日本の労働組合の組織率の変化や、我が国の労働組合の問題点をとらえている。</p>
(2時間)	15歳のハローワーク	●		●	<p>関心・意欲・態度 将来、どんな仕事に就きたいか。そのためには、どんな知識が必要かを具体的に考えている。</p> <p>思考・判断・表現 将来、自分がやりたい仕事は、どんな知識が必要なのか、収集した資料の中から、役立つ情報を適切に選択してわかりやすくまとめている。</p>
(2時間)	つくろう！季節のイベント商品 —企画書作成—	●		●	<p>関心・意欲・態度 消費者の好みや現代社会の特色を考えながら、意欲的に企画書の作成に取り組んでいる。</p> <p>思考・判断・表現 調査によって収集した資料の中から、必要な情報を適切に選択して、図やグラフ等にして表現している。</p>

	<p>第6章 財政と国民の福祉 (2時間)</p> <p>第1節 政府の仕事と財政</p>	<p>1 財政のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府の仕事 ・財政の収支と支出 <p>2 国の収入を支える税と国債</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正な税の負担 ・国債 	●	●	●	<p>関心・意欲・態度 身近な生活に密接に関係している財政に関心をもって、意欲をもって学習しようとしている。</p> <p>知識・理解 財政が国民の生活を支えるためにあること、財政の収入と支出の項目について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 公正な税負担のあり方や国債発行の問題点を考えることができる。</p> <p>知識・理解 税負担の公正なあり方及び国債の意義と現在の財政における国債の問題を理解している。</p>
12	<p>第2節 私たちの生活と政府のはたらき (3時間)</p>	<p>1 生活を守るはたらきと社会資本の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者と市場の自立を守る ・公害と環境保全 ・社会資本の整備 ・私たちが生かす社会資本 <p>2 社会保障のしくみと財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生存権と社会保障 ・社会保障制度 <p>3 高齢社会における福祉の充実と生きがい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会を支えるもの ・福祉の充実をめざして 	●	●	●	<p>思考・判断・表現 今後の行政においては、NPOなどを含む地域社会との連携が大切であることを考えている。</p> <p>知識・理解 消費者保護・公害防止・社会資本の整備など、人々の生活を向上するために果たす国や地方公共団体の役割を理解している。</p> <p>関心・意欲・態度 生存権を保障するためにつくられた社会保障制度について関心をもっている。</p> <p>知識・理解 憲法の生存権に関わる社会保障制度の基本的な内容と、財政における問題点を理解している</p> <p>思考・判断・表現 高齢社会の中で、介護保険制度を中心とした高齢福祉の現状と課題について考えることができる。</p> <p>知識・理解 少子高齢社会における社会保障制度に問題があること及び介護保険制度のしくみを理解している。</p>
	(1時間)	<p>国民年金の支払い —たつやさんの場合—</p>	●	●	●	<p>関心・意欲・態度 国民年金に関する知識を踏まえ、自らの問題としての社会保障について関心をもっている。</p> <p>思考・判断・表現 少子高齢化における現在の国民年金とその問題をふまえ、制度のあり方や財源の配分について自分の考えをまとめている。</p>

	(1時間)	4 景気の動きとその対策 ・なぜ景気は変動するのだろうか ・景気の安定化のしくみ		●		●	<p>思考・判断・表現 資本主義経済で景気の変動が起きる理由や問題点、それに対する金融政策と財政政策を考えている。</p> <p>知識・理解 資本主義経済では景気の変動が起こり、国や日本銀行が景気安定化政策をとることを理解している。</p>
1	(1時間)	【チャレンジ公民】 税金を増やすことは必要か—議論—		●		●	<p>思考・判断・表現 税制を素材にして国の財政や社会保障問題を多面的・多角的に考え、その過程や結果を表現している。</p> <p>技能 資料等を根拠にした論理的な理由をもとに議論を行い、よりよい結論を導くために、仲間と協力して意見をまとめることができる。</p>
	第4編 現代の国際社会 (1時間)	【導入】 国際ナビ	●			●	<p>関心・意欲・態度 国際社会に存在する問題とその解決に対する関心が高まり、意欲的に学習しようとしている。</p> <p>思考・判断・表現 「内政不干涉」の原則をふまえて、権力ある「政府」の存在がない国際社会における問題を考え、自分の意見を説明している。</p>
1	第1章 国際社会と人類の課題 (8時間) 第1節 国家と国際社会	1 国際社会と主権国家 ・国際関係の成り立ち ・国家と主権 2 国際連合の目的とはたらき ・国際連合の成立 ・国際連合の目的とはたらき		●		●	<p>思考・判断・表現 日本の主権が及ぶ範囲と経済水域について地図に示し、外国の主張について説明している。</p> <p>知識・理解 国際社会の形成には、主権平等の原則や領土・領海・領空や経済水域の知識を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 安全保障理事会の常任理事国に、拒否権が与えられている理由を説明している。</p> <p>知識・理解 国連の4つの目的を知り、その組織と働きについて理解している。</p>
	(1時間)	もっと知りたい国連の活動		●		●	<p>思考・判断・表現 国連の活動や日本人の活動について調べたことをまとめ、発表している。</p> <p>知識・理解 国連の活動や日本人の活動に関心を持ち、意欲的に調べ学習に取り組もうとしている。</p>
	(8時間)	1 一体化する国際経済 ・国境のない経済 ・地域経済統合の動き ・現代の国際経済のようす 2 南北問題と多様化する世界 ・南北問題 ・BRICsと産油国の経済成長		●		●	<p>思考・判断・表現 グローバル化や地域統合が進むと、世界経済がどのように変化するかを説明している。</p> <p>知識・理解 国際経済は、グローバル化し、地域経済統合が進んでいることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 南北問題の原因や解決策、BRICs</p>

		<p>2 地球規模の環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな環境問題 <p>3 地球温暖化の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化とその影響 <p>4 持続可能な社会と人類の共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な協力をするための努力 ・持続可能な社会への取り組み ・人類の共生をめざして 		●	●	●	<p>思考・判断・表現</p> <p>人間が地球環境に与える影響の大きさについて考え、説明している。</p> <p>知識・理解</p> <p>地球規模の環境問題の現状と原因について理解している。</p> <p>技能</p> <p>地球温暖化の日本への影響に関する情報を適切に選択し、分野ごとにまとめている。</p> <p>知識・理解</p> <p>地球温暖化のしくみや、その原因・影響について理解している。</p> <p>関心・意欲・態度</p> <p>持続可能な発展に対する関心を高め、自分にできることについて意欲的に考えようとしている。</p> <p>知識・理解</p> <p>地球環境を守るために、国際的に様々な協力が進められ、努力がなされてきたことや、人間の安全保障の考え方やそれに対する日本の取り組みについて理解している。</p>
2	(1時間)	地球温暖化 ー政策の選択ー		●	●		<p>思考・判断・表現</p> <p>地球温暖化を素材に、国の外交や環境問題を多面的・多角的に考え、その過程や結果を表現している。</p> <p>技能</p> <p>示された政策を批判的に考察し、よりよい結論を導くために、仲間と協力して合理的に意見をまとめることができる。</p>
	(1時間)	<p>第5編</p> <p>私たちの課題</p> <p>第1章</p> <p>持続可能な社会をめざして</p>	【導入】 レポート作成ナビ	●			<p>関心・意欲・態度</p> <p>よりよい日本社会を築いていくために解決すべき課題が何かを意欲的に考えようとしている。</p> <p>知識・理解</p> <p>持続可能な社会の形成の基礎として、世代間の公平、地域間の公平、男女間の平等、社会的寛容、貧困削減、環境の保全と回復、天然資源の保全、公正で平和な社会などの社会的価値を含む領域があることを理解し、その知識を身につけている。</p>
2	(10時間)	<p>レポート作成の手引き</p> <p>(1 課題の設定)</p> <p>レポート作成の手引き</p> <p>(2 資料の収集と読み取り)</p> <p>レポート作成の手引き</p> <p>(3 考察)</p>		●			<p>思考・判断・表現</p> <p>身近な地域の生活と我が国全体の政治や経済の動きの関連に着目し、持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見いだしている。</p> <p>知識・理解</p> <p>持続可能な社会の形成の基礎として、世代間の公平、地域間の公平、男女間の平等、社会的寛容、貧困削減、環境の保全と回復、天然資源の保全、公正で平和な社会などの社会</p>

		<p>レポート作成の手引き (3 考察)</p> <p>レポート作成の手引き (3 考察)</p> <p>レポート作成の手引き (4 まとめ方 -レポートの書き方-)</p>	<p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p>	<p>的価値を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>これまでの学習で習得した情報の集め方や各種の情報源に関する知識や技能を活用し、課題探究のために必要な情報は何かについて思考し、適切に判断している。</p> <p>技能</p> <p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する資料を、教科書や資料集だけではなく新聞や雑誌の記事や様々な文献など多様な情報源を活用して収集している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>これまでの学習で習得した知識や技能に加えて収集した資料から得られた情報を活用し、課題解決のためのより良い方法について思考し、適切に判断している。</p> <p>技能</p> <p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関して収集した資料の中から、探究に役立つ情報を適切に選び出している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>社会科で習得した知識や技能に基づいて、解決すべき課題について対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、課題探究の過程で明らかにしたことや、考案した解決策を適切に説明している。</p> <p>技能</p> <p>収集した資料を読み取り、課題探究に役立つ情報を適切に選択して解釈し、思考の過程や考察の結果を文章や図表に的確にまとめている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>これまでの学習で習得した知識や技能に加えて、他者の報告を聞き理解した内容を参考にして、課題解決のためのより良い方法について思考し、適切に判断している。</p> <p>知識・理解</p> <p>課題の探究について、他者の報告内容の検討をふまえて再調査を進めたり考察を深めたりすることで、自分の解釈や考案した解決策をよりよいものにできることを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>関心・意欲・態度</p>
--	--	---	---	---

						<p>よりよい社会を築いていくために解決すべき課題について収集した資料から得た情報に基づいて考察した結果と、報告会での議論などをふまえて考案した解決策を分かり易くまとめようとしている。</p> <p>技能</p> <p>収集した資料から得た情報を適切に選択して解釈し、他者の報告内容を理解し検討したうえで深めた考察の結果を、レポートとしての確にまとめている。</p>
3	(2時間)	公民を学んで				<p>関心・意欲・態度</p> <p>公民の学習を振り返り、公民としての自覚をもって責任を果たそうとする態度が見られる。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>学習した様々な現代社会の課題について、多面的・多角的に考察して、公正に判断することができる。</p>